



VOICE

千代田区 自由民主党議員団活動レポート

発行：千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 (千代田区役所7F)

あなたの声をお聞かせください!

▶ウェブサイト <http://jimin-chiyoda.tokyo>

▶お電話 03-5211-4320 ▶ファクス 03-5275-6882

北の丸公園からせり出すように桜が咲きました。(2017年4月7日撮影)



「なぜ？」に 切り込む!

平成29年度予算案の 区長選挙後初の定例会

減額修正、附帯決議10項目をもって可決!

年度最初の定例会は「予算議会」とも呼ばれています。同時に今年2月の区長選挙後初めての定例会でもありました。

予算審議は正副委員長互選後、補正予算審議、新年度予算の基本的質疑、3分科会による調査、総括質疑の順で行われました。総括質疑では各分科会から挙げた論議項目6本について、開催日程を1日追加するほどの熱い議論が交わされました。「四番町保育園・児童館と仮称麹町仮住宅の整備」、「九段中等教育学校増築整備」の質疑では、予算計上しながら地域住民や保護者など関係者への説明がない、当初計画からの変更について議会への報告が不十分、などの点が露呈されました。

自民党では「九段中等教育学校増築整備」について、当初計画の「連絡橋」は、国の通知の見落としにより実施不可であったこと、計画変更後の新校舎建設は貴重な校庭を狭くしてまで建設する緊急性がないことなどを指摘。昨年の千代田区観光協会関連予算の減額修正と同様、関連予算の全額を減額とする予算修正案を提出し、賛成多数で可決されました。

また、区の重要課題である10項目を申し入れた附帯決議は、全会一致で可決されました。

質疑・議論の結果

九段中等教育学校の増築整備の
基本・実施設計等の見直し **7,339万円 減額!**

第1回定例会において、石川区政5期目のスタートとなる新年度予算と今年度補正予算を審議するため、全議員で構成する予算特別委員会を設置しました。

予算特別委員長
松本よしがが
報告します!



附帯10項目

- 九段中等教育学校の校舎・校庭環境の調査・検討・報告
- 箱根千代田荘の活用策調査と代替施設の見直し
- 軽井沢少年自然の家を活用策調査
- ベビーシッター制度にて交通費を助成
- 区内私立保育園の保育士に奨学金制度を創設
- 外堀公園総合グラウンド整備について利用者の意見反映
- 北の丸公園周辺まちづくり基本構想を地域・区議会と確認
- (仮称)外神田一丁目公共施設整備の再点検
- (仮称)区立麹町仮住宅の整備・四番町複合施設の地域・議会への詳細説明
- 人間国宝関連事業の抜本的な検討

NEWS

新支部長に 堀田康彦氏



第63回自由民主党千代田総支部定期大会が4月8日(土) 11時より如水会館に於いて開催されました。

大会では各会計、事業報告などが承認されると共に内田茂都議に代わって新支部長に堀田康彦氏が満場一致で承認されました。



PICK UP! ココが知りたい!

復活へ向けて全会一致で区に意見書を提出!

約半世紀にわたり、多くの区民の皆さまに愛され利用されてきた「箱根千代田荘」。区では平成27年7月より、保養所を直接設置・運営する意義が薄れてきたとして運営を休止しています。

議会では、今後の活用方策を調査するため行政調査を実施。外壁等は良好なもの、設備面では相当な改修経費がかかることが判明しました。同時に現在代替サービスとして契約している施設を訪問調査した

結果、バリアフリー化の不備など高齢者の利用には支障があることがわかりました。

議会では、箱根千代田荘の恵まれた立地条件、区民の皆さまの財産としての価値を改めて確認。区に対し、区民利用者や団体の意見を十分に把握しながら安易に廃止・売却することなく、早急に運営方法を検討し、再開に向け具体的な計画を示すよう、強く求める意見書を全会一致で提出いたしました。

附帯10項目にも盛り込まれた「箱根千代田荘」問題、どうなっている?!

千代田区はホントに「待機児童」ゼロなの?

「潜在的待機児童」の存在をご存じでしょうか。「待機児童」とは、区内のどの園にも入れない児童のこと、と定義されています。区によると「3年連続で待機児童ゼロ」を達成したとしていますが、実際には「希望する園に入れずに待機」といった「潜在的待機児童」が毎年相当数生じています。

区ではサイト上で「特定園留保*」数などを

公表していますが、その真意がわかりにくい表記となっています。

厚生労働省でも基準の見直しを進めていますが、千代田区としても、公表方法の改善や保育需要に対する保育所整備、保育の質のさらなる向上は急務と考え、区に対応を求めています。

千代田区の保育園・こども園の待機児童数と留保数(平成29年度4月現在)

待機児童:	区内のどの園にも入れない方..... 0人
※特定園留保:	希望する保育所に入れず、自宅で待機 86人
留保:	認可保育所に入れず、その他の保育関連施設に入所している方 47人
転所留保:	兄弟姉妹が別々の認可保育所に入所しているなどの理由で、別の認可保育所を希望している方 38人

千代田区議会 自由民主党議員団の ウェブページを立ち上げます!

区議会内での活動や議論されている課題などを、分かりやすく発信していきます!皆さまどうぞご覧ください。

<http://jimin-chiyoda.tokyo>



※5月上旬開設予定です。





代表質問

桜井ただし 私たち自民党は区民の皆さまの生活を守り、
幸せと感じていただける施策の実現に向けてこれからも全力で取り組んでまいります。

今後の区政運営について

問: ①区長は都に対して大切な自治権拡充や財源移譲をしっかりと主張していくことができるのか。②知事の東京大改革の中身について区長はどのように理解し、本区にとってどのような影響を与えると考えるか。

区の答弁

①区民本位の区政に立ってしっかりと主張すべきところはしていく。②行政運営の透明性の確保と理解する。情報公開、公益通報制度などを実施し財政運営では予算・決算の見える化を推進する。

29年度予算について

問: ①予算審議にあたりこれまでの議会からの指摘をどのように受け止め説明責任を果たすおつもりか、本区の急激な人口増への対応は。②昨年度予算化を求めた学校給食の牛乳代無料化やこどもの暴力防止講習会の実施状況は。③決算残額を基金として積み立てるのではなく、もっと区民サービスに還元すべきではないか。

区の答弁

①議会と十分な意見交換を行い区民本位の区政をめざす。また区民ニーズを把握し柔軟に対応する。②全額ではないが補助を実施する。講習会などは検討中。③決算残高は必要なサービスを抑制したのではなく、残高はその結果。必要なものは予算化したと理解している。

商工振興基本計画について

問: ①新たな時代に即した活動方針を計画に入れるべき。②区内商工業への対応は。③区として商店街が抱える課題をどのように捉え、どのような支援策を講じていくのか。

区の答弁

①的確な進行管理と重要業績評価指標を設定し検証する。②販路開拓支援、区内で操業しやすい環境づくりなどを推進する。③商店街の担い手不足は大きな課題。区内の大学や専門学校などの学生と商店街との協働の取り組みを区として支援していく。

学習指導要領の改訂について

問: ①今回の改定の主旨やポイントは何か。小学5年生から英語を取り入れるなど現行の教育内容がどう変わるのか。②本区の教育委員会は今回の改定をどう受け止め対応するのか。③期待できる教育効果は何か。

区の答弁

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。国語教育の育成、理数教育、外国語教育の充実など盛り込まれる。②プログラミング教育や外国語の指導法に関する研修会などを実施して適切に対応する。③変化の激しい先行きが不透明な時代にあってもしっかりと豊かな人生を切り開き、他者を尊重し協働する社会の担い手をめざす。

一般質問

嶋崎秀彦

国際教育について

問: 現状での課題は何か。また国際交流事業をより効果的に進める方策を検討すべきである。



区の答弁

時間数が課題だが、幼・保から小学6年まで外国語活動を実施。方策はICT活用による遠隔授業などを検討していく。

永田壮一

高齢者定義の見直しについて

問: 高齢者の定義を65歳から75歳として人材活用できないか。社会保障制度維持のため年金支給時期など、理解を求めていくべき。



区の答弁

意欲のある人材を把握し活用するサービスを整備する。区独自の事業は年齢の見直しを検討したい。

池田ともり

「食品ロスの削減」を食育のテーマに

問: ①食育推進計画の成果・課題・今後は。②ロスを防ぐため、使う分だけの食材を購入する買い方などを推奨すべき。③持て余した食材での料理教室や、ゲーム形式でロス発生原因を学習するイベントや場を、区が広く提供すべき。



区の答弁

①計画の多くは目標値に近づいたが、生活の多様化などで、家族で食育に取り組むことが困難に。今後は区民・事業者との連携を拡大する。②事業者には講習会などで、区民にはイベントなどで啓発を行っていく。③楽しく学ぶ提案は非常に効果的。前向きに検討する。



松本佳子

千代田区女性史の継承について

問: ①2000年に発行した千代田区女性史について、当時の制作方法を継承し、更に女性の歴史を掘り起こし、記録・伝承していくべき。②千代田区ゆかりの本をまとめ、軽井沢の区有施設に千代田文庫の設置を。



区の答弁

①まず、当時の関係者から意見を聴く。②当該施設を含め、保養施設廃止が区の方針。議会からの要請があれば、活用方法について改めて論議していく。

多様化された保育施設の見直し

問: 今後も増加する多様な保育施設。区の指導体制・実態把握と支援は。

区の答弁

園長OBの巡回指導や公立・私立園の合同研修会を実施し、保育の質の向上を図る。

委員会活動レポート

委員会は、3つの常任委員会(企画総務・地域保健福祉・子育て文教)と5つの特別委員会(オリンピック・パラリンピック対策/公共施設整備/マンションと地域コミュニティ活性化/議会のあり方/お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備)があり、それぞれ問題に取り組んでいます!

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備 特別委員会

お茶の水小学校・幼稚園、現地建替へ大きな一歩!

お茶の水小学校と幼稚園の建替については、速やかにによりよい教育環境を整えるため、特別委員会を設置して議論を重ねてきました。3月28日にお茶の水小学校・幼稚園のPTA関係者、同窓会関係者、地元関係者などで構成する施設整備検討協議会の第一回協議会が開催され、今後はこの協議会を中心に平成34年度の

新校舎供用開始をめざして、協議が進められていく予定です。

自民党議員団では、これから整備される新校舎が、子どもたちや周辺地域の方々にとって素晴らしい施設となるよう、積極的に議論を推進していきます。



地域保健福祉委員会

障害者福祉施設の増設を求めています!

昨年2月、障害者の親なき後を見通した終の棲家としてのグループホームの整備、ショートステイの増床など、障害者施策の拡充を求める陳情がありました。委員会では各種調査や家族会への聞き取りなどを行い、その必要性を確認、という理解を示しました。

障害者の方の切実なニーズを行政課題として捉え、新たな用地取得や低未利用地を活用する方針を、全庁挙げてスピード感を持って決めていくことの必要性を確認しました。

区議会としても、障害者の方にとって必要不可欠な

施設の整備方針を、区を挙げて早急に策定することに加え、終の棲家となり得る機能を備えた障害者福祉施設を整備するよう強く求める意見書を全会一致で提出いたしました。



もっと議会のことや、自由民主党の考えを知っていただきたい!という思いから今号より紙面をリニューアルしました!!写真を増やしたり、解説を加えるなどして、よりわかりやすい紙面をめざしましたので、ぜひご一読ください。また、千代田区自民党議員団全員が皆さまの声に耳を傾けていますので、どうぞお気軽にご意見・ご感想をお寄せください。(池田ともり)



VOICEは、
あなたの意見を
紙面に活かします!

▶ウェブサイト <http://jimin-chiyoda.tokyo>
▶お電話 03-5211-4320 ▶ファクス 03-5275-6882